

# 東大15人、京大30人合格

県内高校まとめ  
前年から大幅増

県教委の12日までのまとめによると、国公立大の2019年度入試で県内高校から東大に15人、京大に30人が合格した。前年同期に比べ東大が5人、京大は12人増えた。このうち東大の推薦入試と京

大の特色入試で各2人が合格した。

県教委によると、東大の推薦入試で法学部に藤島高の男子1人、薬学部と同校の女子1人が合格した。薬学部は募集5人程度に対して9人が受験し、合格者は1人だけだった。京大の特色入試は、医学部人間健康科学科に武生高と若狭高の女子各1人が合格した。

一般入試前期日程では、東大に現役7人、既卒6人の計13人が合格。京大は現役19人、既卒9人の計28人が合格した。

高校生の学力向上へ県教委は本年度、大学進学者の多い

## 東京大、京都大の県内高校合格者数

<b>東京大</b>	15(6)
藤島 9(3) 高志 3(2) 大野 1(1) 若狭 1(0)	
北陸 1(0)	
<b>京都大</b>	30(9)
藤島 20(7) 高志 2(0) 勝山 1(0) 武生 4(0)	
若狭 1(0) 福井工大福井 1(1) 北陸 1(1)	

12日時点。( )内は既卒者数。推薦、特色入試を含む。

公立10校に「授業力向上リダー」を新設。各校長から指名された国語、英語、数学、理科、社会の5教科1人ずつ

のリーダーを中心に、教員の授業力向上を図ってきた。県高校教育課は「各校が授業力向上にしっかり取り組んだ結果、上位層の学力が伸びた。新年度もさらに授業力を高めたい」としている。

(小林真也)